

日蓮聖人門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181
https://nichiren-monka.org

令和4年10月13日
第66号

門下連合会理事長就任挨拶

田中恵紳



先般、六月三十日に開催されました、日蓮聖人門下連合会身延理事会に於いて、各加

盟団体より御推挙を賜り、理事長に就任いたしました、日蓮宗事務総長 田中恵紳でございます。当会の更なる発展を通し、立正安国・四海帰妙の祖願達成に一步でも近づけることができるよう、不惜身命の決意を以て取り組んで参りますので、何卒、宜しくお願ひ申し上げます。

長におかれましては、降誕八百年御正當をお迎えする中、持ち前の辣腕を存分に振るわれ、関連諸行事並びに諸事業を無事円成に導いていただきましたこと、衷心より敬意を表すると共に、感謝と御慰労を申し上げます。今後この重責を担い、当会の運営に携わらせていただくことはこの上ない名譽であり、身の引き締まる思いであります。

門下連合会結成時の記録に眼が留まりました。それは、初代理事長 金子日威猥下の、「各派は、お互いを深く理解し合う事で、共通点を拡げてゆく事が肝要である」というお言葉でした。私は、我々門下が雑事や小事を捨て、門下連合会の目的と事業に精進し、一致団結して祖願を達成することこそ、日蓮聖人に直参する唯一無二の道であり、延いてはその身を捧げてこられた先師の想いに報いることであると確信しております。各派が矜恃をもって互いに手を取り合い、祖願達成に向けて精進、努力することで、当会が一層の発展を遂げることが切に願ひ、就任の御挨拶とさせていただきます。

法華宗(本門流)管長就任挨拶

法華宗(本門流)管長
大本山本能寺第四百十世貫首



桃井日英

弘めるべく日々南無妙法蓮華經のお題目をお唱えしております。

無妙法蓮華經のお題目を弘通されたのであります。翻って現代の社会はどうでしょうか。我が国は、世界有数の経済大国であり、物質的には恵まれていると思われ、一方、最近持つものを持つたざるもの格差は広がるばかりであります。さらには各地で発生する自然災害、新型コロナウイルスをはじめとする疫病、ロシアによるウクライナ侵攻等の紛争は言うに及ばず、国内であつても様々な所で事件が起り、人々の心の荒廃は深まるばかりであります。

大聖人は「崇峻天皇御書」にて「蔵の財よりも身の財すぐれたり、身の財よりも心の財第一なり」とお説きになられています。たとえ物に恵まれた世の中であつても心が整つ

この度法華宗(本門流)第四百十代管長に就任致しました桃井日英と申します。宜しくお願い致します。

我が山大本山本能寺は、応永二十二年に法華宗再興唱導師日隆聖人によって開創されて以来六百年を数える寺院であります。京都の中心地にあつて日蓮大聖人の御教えを

御在世は正嘉の大地震をはじめ、様々な災害や飢饉・疫病・闘争の絶えない世の中でした。そのような中、大聖人は法華經への帰依による仏国土の実現、即ち立正安国の社会を標榜し、ただひたすらに南

ていなければ人々が幸せになることはないのです。私たちは、大聖人の御在世も、また八百年後の現代も、等しく末法なのだ改めて認識しなければなりません。そして大聖人の忍難弘通を仰ぎ見、いまこそ立正安国の社会の実現を目指すべき時でありましょう。

日蓮聖人門下連合会各聖におかれましては立正安国の社会の実現のため、何卒ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

立正大師諡号

一〇〇周年を考える

日蓮聖人門下連合会 顕本法華宗 理事 小松正学

令和4年10月13日の御会式は、日蓮聖人が大正天皇より「立正大師」の諡号を宣下されてから一〇〇周年に当たります。本年5月に顕本法華宗では、京都市左京区の総本山妙満寺で行われた「春季報恩大法要」において、大川日仰猥下大導師のもと「宗祖日蓮大聖人立正大師諡号宣下一〇〇周年慶讃法要」が三座厳修され、日蓮聖人門下連合会では、11月17日に、京都理事会並びに「一〇〇周年慶讃法要」が顕本法華宗総本山・妙満寺で開催される予定となっております。

「立正大師」諡号は、当時の顕本法華宗管長で日蓮主義の提唱者としても著名であった本多日生猥下の発案でなされ、本多猥下自ら日蓮門下の各派管長猥下に交渉の上、親交のあつた各界の名士の協力も得て実現したもので、宮内大臣宛ての請願書には出願者として、日蓮門下九宗派(日蓮宗、日蓮正宗、顕本法華宗、本門宗、本門法華宗、法華宗、本妙法華宗、日蓮宗不受不施派、日蓮宗不受不施講門派)当時の名称)の名前が記載されています。また請願書には、「日蓮聖人一代略歴」と「主要御書の内容」が添付されており、発案者であつた本多猥下の「日蓮主義」というのは、日蓮聖人の経歴と人格を経た(てい)として、その主義と主張とを緯(よこ)いととして織り出されたもの(「立正大師」との主張が反映されたものでした)。

また同年11月16日に上野自治会館で開催された奉祝大会には、約2500人の関係者が参集し、以後も各宗派において、全国各地はもとより海外でも奉祝行事が挙行されています。

立正大師諡号宣下の意義について、本多猥下は「信仰修養思想より論じたる日蓮主義の本領」の中で「大師とは一宗一派の信徒の師にあらずして国民全般の師なりということ、大聖人の一代の活動が、これを概括すれば「立正」の二字に収まり、聖人の主張、聖人の風格を国民が戴くようになれば、国家は安全になることを公認されたこと」(筆者要約)とした上で、「国と人と教は、三にして一、一にして三であるが、国を大切に思うならば人を導かなければならない。人を正すは教にあり(筆者要約)とも述べられています。昨今の世界情勢に鑑みれば、至言といえるのではないのでしょうか。

日蓮門下全体で「立正大師」と称号されたことの意義を考え、9年後に迎える日蓮聖人七五〇遠忌にむけて、協調して何ができるかを考えるに、一〇〇周年は良い機会だと思ひます。

從地ゆじゅつ

息子が大学二年生になった。昨年はほぼオンライン授業で通えなかった大学も、今年はやつと大学生になった感じがする。保護者向けのキャンパスツアーも再開したので参加した。驚いたのは構内の掲示板。私たちの時代は休講の連絡をはじめ、あらゆる掲示物のメモを取る人であふれていた。今は存在感がなく、全く周りに人がいない。貼つてあるのはQRコード一枚だけである。聞けば休講のお知らせや情報は、事前にスマホに届くらしい。

今年就職活動の大学三年生は学生生活の二年間がオンラインで、ガクチカ(学生時代で力を入れたこと)を何にするか困っていると聞く。コロナでアルバイトもサークル活動もボランティアもできず、大変だと思つた。それでも大学就職率は95・8%とのこと。水河期世代の私には羨ましい。人だかりの掲示板も、就活の張り紙は寂しいものだったから。

京急川崎駅のフラップ式列車発車案内表示装置、通称パタパタが今年の二月に役目を終えた。懸命に時間と行き先を告げる、健康な姿がなくなるのは寂しいと同時に疲れれさと言いた。思えば成田空港の離発着案内も昔はパタパタだった。早く制限なく海外に行けるようにと思ひをはせる。

7月にKDDIで3915万回線、8時間超えの通信障害があつた。電話、メールはもちろん、物流、交通、アメダス、電子マネー、電子チケットなどが使えなくなり、混乱した人も多かつた。私たちは便利になりすぎた生活に慣れてしまった。重大なインフラを担う携帯電話会社には急速な復旧を望む。

スマホが普及して世間はめまぐるしく変化し、あらゆる情報が簡単に手に入るようになった。誹謗中傷、膨大な情報や広告に惑わされず、選別し判断する力を養ひたい。電車に乗ればスマホを手にはしていない人はほほい。生活に欠かせないスマホだが、支配されないようにうまく付き合つていきたい。(春)

観心本尊抄述作並大曼荼羅始頭 七百五十年慶讃法要 (日蓮宗)



観心本尊抄述作並大曼荼羅始頭 750 年慶讃法要



慶讃文を読み上げる
田中宗務総長



田中宗務総長と内局出席者

令和四年六月十日、新潟県佐渡市日蓮宗本山妙照寺に於いて、『如来滅後五百歳始観心本尊抄』述作・大曼荼羅始頭七百五十年慶讃法要が、田中恵紳日蓮宗宗務総長を導師に営まれた。同寺は昨年十二月、火災によって本堂や祖師堂等が焼失しており、被災を免れた「観心の始頭本尊法塔」前で、宗務役員を伴い、日蓮聖人への報恩感謝の誠を捧げた。当日は佐渡市内の各本山貫首、新潟県内三管区宗務所長、妙照寺干与人、同寺檀信徒らが参列。日蓮聖人がご滞在された霊跡に法華経とお題目が響き渡った。田中宗務総長は慶讃文に於いて、「濁世末法の様相、眼前に有りて、世界の情勢甚だ複雑にして、前途の艱難を想わしむと雖も、経意を忘失せず仏祖の宿縁に酬えて一乗深甚の法燈を伝え、異体同心の祖訓を奉じて、一天四海皆帰妙法の祖願を成就せんことを誓い奉るものなり。」と、誓いを新たにされた。また、回向で同寺の復興を祈願した田中宗務総長は、参列した僧侶檀信徒に向けて、「佐渡の地で過ごされた日蓮聖人の時間が、今日までの日蓮門下の信仰の基盤を作りました。この教義確立の聖地が一刻も早く復興し、更なる隆昌を迎えることを切に願っています。」と伝えた。

失せず仏祖の宿縁に酬えて一乗深甚の法燈を伝え、異体同心の祖訓を奉じて、一天四海皆帰妙法の祖願を成就せんことを誓い奉るものなり。」と、誓いを新たにされた。また、回向で同寺の復興を祈願した田中宗務総長は、参列した僧侶檀信徒に向けて、「佐渡の地で過ごされた日蓮聖人の時間が、今日までの日蓮門下の信仰の基盤を作りました。この教義確立の聖地が一刻も早く復興し、更なる隆昌を迎えることを切に願っています。」と伝えた。

旭が森銅像建立百年並 スロープ完成奉告式 (日蓮宗)



スロープ前でのテープカット



旭が森に向かう行列

千葉県鴨川市、日蓮宗大本山清澄寺にて四月二十七日、旭が森銅像建立百年並スロープ完成奉告式が日蓮宗管長菅野日彰猷下(同寺住職)を導師に営まれた。本年、旭が森山頂の日蓮聖人像が大正十二年(1923)に建立されてから百年の節目を迎え、記念事業として聖人像の色揚げ塗装や旭が森境内整備が行われた。旭が森の日蓮聖人像建立の発端は百年以上前の、清澄寺がまだ真言宗であった時まで遡る。当時の日蓮宗管長・河合日辰猷下が清澄寺での銅像建立を発願、玉瀧義秀清澄寺貫首(当時)と協議を進め、共に本事業を達成することが誓われた。その後、身延山久遠寺や池上本門寺をはじめとする本山や篤信徒の協力を得て大正十一年に着工し、翌年八月三十日に完成した。旭が森への道は南側の階段のほか、北側のつづら折り階段があったが、平成二十五年十月に発生した台風二十六号の影響でつづら折り階段側の崖が崩落し、通行止めになっていた。さらに同台風により麓にある練行堂の水屋の倒壊被害も発生しており、今回、旭が森境内の環境整備として、つづら折り階段をスロープに変更したほか擁壁の設置、山頂の舗装が行われた。この工事に伴い、旭が森に容易に登れるようになったため、多くの参拝者が日蓮聖人像が立教開宗で見られた景色と同じ視点を共有できるようにもなった。

式に先立ち、菅野日彰猷下、田中恵紳宗務総長、金子日厚清澄寺別当、来賓方々によるテープカットの後、スロープ渡り初めが行われた。銅像建立により機運が高まり、昭和二十四年に清澄寺が日蓮宗へ改宗された際には、参拝者の列が何キロも連ねたといわれ、菅野猷下が先導された渡り初めでは整備の寄進者らの列が頂上まで続き、当時を彷彿させる様子を見た。法要では修法師の祈祷と共に、化粧直しされた日蓮聖人像の除幕が行われ、美しい姿が披露された。菅野猷下は慶讃文にて本事業に於ける金子日厚別当と檀信徒、関係者の尽力を讃えと共に、『開目抄』の一節、「我れ日本の柱とならん。我れ日本の眼目とならん。我れ日本の大船とならん。」の三大誓願を自らの胸に刻まれるよう示された。



旭が森 日蓮聖人銅像

参列した檀信徒の一人は「大きな節目となる今回の式に呼んでいただき、ありがたいと思います。きれいななった日蓮聖人のお姿を目に焼き付けて帰ります。」と話した。

日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 山田光映
 宗務総長 田中恵紳 宗務総長室長 鶏内泰寛
 伝道局長 柳下俊明 現代宗教研究所長 赤堀正明
 総務局長 光岡潮慶 参 与 渡邊義生
 伝道部長 藤田尚哉 参 与 田中智海
 教務部長 川久保光隆 日蓮宗新聞社社長 安芸栄祥
 総務部長 畑 栄明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(三七五)七一一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 桃井日英
 宗務総長 金井孝顕
 教学部長 清水常光
 布教部長 三吉廣明
 総務部長 平田義生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 吉崎長生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 大川日仰
 宗務総長 河野時巧
 宗務次長 小松正学
 財務部長 吉田諦規
 布教部長 小川正展
 庶務部長 金坂正道
 社会部長 森田修應
 教務部長 二宮無尽

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠
 宗務総長 西山英仁
 総務部長 牧野秀成
 企画部長 金原孝宜
 財務部長 西山聡達
 教学部長 布施義高
 教化部長 松吉慶憲
 宗務参事 田中隆寛

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三五七六)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 新井日現
 宗務副総長 永江日盡
 宗務副総長 谷 信一
 教育局長 植田日事
 弘通局長 山内日得
 総務局長 藤本日唱
 広報局長 澤田日松
 財務局長 川野辺日裕
 奉賛局長 柴崎日布

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一六六代
 FAX 〇七五(四六一)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠
 宗務総長 西尾弘道
 総務部長 住友公亮
 財務部長 柳下真敬
 教務部長 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷
 宗務総長 堀内浩善
 総務部長 坂本法保
 企画部長 峰尾泉栄
 教学部長 舟積法宏
 教化部長 水野智悠
 社会部長 堀 雅博
 財務部長 堀 雅博

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 別所日山
 宗務総長 香川日憲
 宗務部長 増田日倫
 総務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大宮東入大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷
 理事長 松浦正
 理事 森山真治
 門連理事 藤本坦孝
 門連常任理事 的場春奈
 編集委員

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三五六)七二二代
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 今井行康
 責任役員 木津博充
 同 川岸行孝
 同 武田隆雄
 同 長濱行豊
 同 行徳行得

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 大川日仰
 副会長 上田日瑞
 理事長 土持栄孝
 副理事長 橋本一妙

京門連事務局
 〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 伊藤信城 理事 高橋次郎
 副理事長 藤本経尚 理事 京藤白應
 理事・会計 松井英光 理事 森田進
 理事 門谷光瑞 理事 福島正堯
 理事 吉村日彦 理事 神谷行俊
 理事 木下真良 理事 下土井龍永

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町九一-一七
 電話 〇六(六七六一)七三三三
 FAX 〇六(六七六一)六六四九

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 内野日総
総務 持田日勇

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事長 木内隆志
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一
電話 〇三(三七五二)一三三三一
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 鷺山寺

貫首 佐藤日賢
執事長 渡辺明博
役員一同

〒297-0051 千葉県茂原市鷺巢四八八
電話 〇四七五(二二)二九七八
FAX 〇四七五(二二)三〇三八

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 大川日仰
総務 土持栄孝
執事 中村英司
執事 湯原正純
執事 藤本慧昌
執事 足立幸謙

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

貫首 門谷日悠
寺務所員一同

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事長 永岡悠希
執事 笹木研吾
執事補 矢放啓亮
参与 本多信正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事長 佐野充照
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五二)三三二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 丹治日遠
執事長 西尾弘道
執事 住友公亮
執事 柳下真敬

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 高須日良
二十六世講有
執事長 山下日翠
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区二条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

会本・本山 立本寺 貫首 上田日瑞
大本山 妙顕寺 貫首 及川日周
大本山 本閉寺 貫首 早川日章
本山 本法寺 貫首 瀬川日照
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳
本山 本満寺 貫首 森 日洗
本山 妙傳寺 貫首(代) 近藤 日康

京都 法華門流懇話会

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 大川日仰
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
日蓮本宗 本山要法寺 貫首 丹治日遠
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 高須日良
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 赤塚高明

日蓮宗大本山 日蓮聖人出家得度の霊場 旭が森銅像建立一〇〇年(令和四年) 千光山 清澄寺

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二一一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七

宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺

宗祖御降誕八百年慶讃
貫首 石川日命
執事長 角濱監鏡

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗霊跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一―一五一一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二二)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源

貫首 旭 日重
参与一同 鈴木春雄
執事長 鈴木春雄
役員一同

〒418-0112 静岡県富士市北山四九六五
電話 〇五四四(五八)一〇〇四
FAX 〇五四四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
参与 田代浩敬
参与 植田観樹
参与 松本慈恵
参与 関 観亮

〒272-0813 千葉県市川市中山二―一〇一一
電話 〇四七(三三四)三三三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八
電話 〇三(三三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

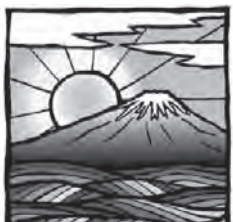
貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇〇一
電話 〇四七五(二二)三二五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

貫首 井上日修
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五
電話 〇三(三八二二)四三七三
FAX 〇三(三八二二)七〇三三



門連時報

祖廟参詣及び身延理事会開催さる

令和四年六月三十日(木)、日蓮宗本山身延山久遠寺で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、全国日蓮聖人門下連合会の顧問・常任理事・理事・監査・大阪門下懇話会理事長等、二十五名が参加した。

午後十二時三十分、御廟法務所に集合し、祖廟にて法味言上及び記念撮影。続き久遠寺へ移動し、午後一時五十分より書院にて理事会が開催された。

京都日蓮聖人門下連合会事業開催

七百五十年を迎えるにあたり、門下連合会での「佐渡結集(名称仮)」が提案され、一同承認。具体案に關しては今後、検討していく。

午後三時〇〇分に閉会。また例年、理事会後に催される懇親会は新型コロナウイルスの影響に鑑み中止となった。

宗祖御降誕会

二月十六日(水)、京都日蓮聖人門下連合会総会並びに宗祖御降誕法要を顕本法華宗本山妙満寺で開催予定であったが、京都府下に「まん延防止等重点措置」が発出されたことを受け総会の中止並びに宗祖御降誕会も中止となった。

尚、総会の議事に関しては「書面表決」が行われ、宗祖御降誕法要は法要予定をしていた十四時半より日蓮聖人門下連合会門下の各宗派本山、会員寺院にて一斉に報恩法要を行い、京都中に法華経・お題目の音が響き渡った。

立教開宗会

四月二十八日(木)午前十時半より、日蓮聖人ご遊学十二ヶ年の霊蹟である比叡山横川定光院にて、日蓮宗本山本法師瀬川日照貫首大導師のもと、第七七〇回立教開宗法要を厳修した。

尚、本年の法要もコロナウイルス蔓延により檀信徒の参拝を見合わせ、法要前の法話も中止となり寂しい法要となった。

第五十七回 夏季大学

八月二十七日(土)午後一時よりホテル本能寺において京都日蓮聖人門下連合会主催、京都日蓮聖人本山会後援で第五十七回夏季大

学が三年ぶりに開催され、僧俗約八十名が参加した。

開講式では、顕本法華宗本山妙満寺大川日仰貫首(京都日蓮聖人門下連合会会長)を導師に法味言上し、挨拶では「法華経・お題目は本心に有難い教えであり、ご縁がありこの時代に生を受け一分一秒を大切にしなければならぬ。ご先祖を大切にし、更には家族に心を寄せ合いお互いを大切に、信仰に励まなければならぬ」と話された。

第一講では、佛敎大学社会学部大谷栄一教授による「立正大師諡号宣下百周年と日蓮主義」と題し、諡号宣下の功業者である顕本法華宗管長本多日生現下の生涯とその活動、日蓮主義の特徴を説明したうえで、大正時代の日蓮門下が発見された立正大師諡号宣下の歴史と経緯とその意義について数々の資料や写真・音声を交え、解り易く講演された。

第二講では、喜劇俳優である大村崑氏による「今、幸せですか。」と題し、幼少期から現在の名声を得るまでの苦勞や、健康により笑顔になれる、怒ると体調も崩し命も短くなる等々自らの持論を披露し、自ら行っている健康法を参加者と共に実演しながら面白おかしく講演された。そして、最後には笑顔である口角を上げる方法として、出演のTVCMにちなみ「笑顔を作るにはオロナミンC」と締めくくり会場が笑顔で一丸となった。

大阪日蓮聖人門下懇話会事業開催

第二十四回 本山由緒寺院参拝日帰りバスツアー

五月三十一日(火)、令和元年度事業ながら催行延期されていた「日蓮宗本山・立本寺および伏見桃山御陵参拝」催行。感染症対策に配慮しながらであったが、僧俗の念願が叶い、三十名の参加を得た。本山・立本寺様での法要一座や桃山御陵参拝は、参加者にとって貴重な体験であり、感動と感銘のバスツアーを満喫した。

第三十五回 総会

七月五日(火)午後六時より三年ぶりの対面での開催。令和二年度・令和三年度とコロナウイルス感染症感染拡大のため、書面による議決を行ったが、今年度は二十名の参加を得て開催され、全議案は全会一致をもって可決・了承された。総会後、感染症対策を十分に図った上、懇親会も開催。一同、マスク会食等、感染症に留意しながら、久しぶりに和やかな時間を過ごした。

第三十回 報恩合同御会式

十一月十三日(日)午後二時より、大阪谷町・法華宗本門流妙法寺において、修行予定三十回目を迎えるが、アフターコロナの新たな第一歩で、平時に戻せるように、法要・法話・清興を行い、僧俗参集の上で賑々しく御会式を修行したい。

第三十三回 研修会

十二月中に開催予定。講師は法華宗本門流「興隆学林専門学校」准教授・池田本唱寺住職・三浦和浩師。講題「ポストコロナ時代の寺院のあり方(仮題)」。コロナ禍の現状を分析し、見えてきた課題から一歩踏み出し、ポストコロナ時代の寺院・僧侶のあり方や進むべき方向への教示やヒントの得られる研修会とした。

第二十五回 本山由緒寺院参拝日帰りバスツアー

令和五年三月末に催行予定。参拝寺院は「法華宗本門流・大本山本興寺」。募集人数はバス二台・八十名予定。

日蓮宗宗祖降誕八百年記念漫画『あなたは尊い』

日蓮聖人降誕八百年結縁部会青少年サミットPTTと多数の人氣漫画を手がけてきた佐渡島庸平氏が監修し、漫画家・やじまけんじ氏が描いた日蓮聖人を主人公にした漫画『あなたは尊い』が徳間書店から発売され、好評発売中。困難な現代をどう生きるのか?その答えは法華経の中にしかない。孤独、憎しみ、弱さ。悩める現代人に贈る、珠玉の短編漫画8編が収録されている。

約八百年前の鎌倉時代には、大地震・疫病の流行・さらには大飢饉など、現在の私たちが受けるよりもっと大きな苦しみがあった。人間は死後の世界ではなく、生きていく今である「この世」で幸せにならなくては行けない。今を幸せに生きるには何を信じたらいいのか。幾多の妨害や法難に屈することなく信念を貫く青壮年期の日蓮聖人の姿が、分かりやすく活写されている。途中に挟まれるコラムも読み応えがあり、日蓮聖人を理解するための1冊として、たいへん優れた作りになっている。祖父母から孫まで3世代で楽しめる。(徳間書店・定価1375円・248頁・A5判)



▼人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
令和四・一・一	上田日瑞	京門連	顧問	就任	退任
令和四・五・一三	小西日逸	法華宗(本門流)	顧問	就任	退任
令和四・七・一	原田智光	日蓮本宗	常任理事	就任	退任
令和四・七・一	西尾弘道	日蓮本宗	常任理事	就任	退任
令和四・七・一	柳下正則	日蓮本宗	理事	就任	退任
令和四・七・一	住友公亮	日蓮本宗	理事	就任	退任
令和四・八・一	吉崎長生	法華宗(本門流)	理事	就任	退任
令和四・八・一	久野晃秀	法華宗(本門流)	理事	就任	退任

法華三部経大講義

渡邊寶陽 著
監修 財団法人「法華会」
編集・発行 (株)日蓮宗新聞社

本刊行は小林一郎・久保田正文両先生の『法華経大講座』の精神を引き継ぎ、日蓮聖人が読まれた立場で解説した法華経全巻と開経・結経の要点を概説しています。初学の読者にも容易に理解出来るよう配慮した、やさしい「法華経理解の入門書」です。

- 【第1巻】202頁 開経から法華経へ 開経『無量義経』
 - 【第2巻】518頁 『妙法蓮華経』 序品第一～信解品第四
 - 【第3巻】446頁 葉草喩品第五～安樂行品第十四
 - 【第4巻】455頁 從地涌出品第十五～普賢菩薩勸発品第二十八
 - 【第5巻】165頁+全文検索用USB 結経『仏説観普賢菩薩行法経』 文字検索対応PDFデータ (索引に替えて)
- ※引用経文(訓読)校訂協力 佐世保本興寺 松本玄経・岩永泰賢&普賢会・九州教化センター各聖



五巻には全索引に替えて全文PDFを収納したUSBをセット

全5巻セット 20,900円(税込・送料別)



各派・教団・短信

京都門下連合会

令和四年度行

◆一月十七日(月) 新年理事会(本能寺大寶殿) 今年度会長大川日仰祝下、副会長上田日瑞祝下、理事長土持榮孝師、副理事長橋本一妙師。

◆二月十六日(水) 総会(顕本法華宗本山妙満寺) 議事書面表決

◆同日 御降誕会(コロナ禍につき会員寺院にて十四時半一斉法要)。

◆三月七日(月) 理事会(本能寺大寶殿) 立教開宗会の件夏季大学の件。

◆四月二十八日(木) 立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師日蓮宗本山本法寺貫首瀬川日照祝下

◆六月六日(月) 理事会(本能寺大寶殿) 夏季大学の件、御会式の件

◆六月二十二日 門下本山会主催 当番顕本法華宗本山妙満寺。(左阿弥)

◆六月三十日(木) 全門連身延理事会(身延山久遠寺) 会長、理事長等出席。

◆八月二十七日(土) 夏季大学(ホテル本能寺B一階) 講師大川日仰祝下(総本山妙満寺貫首) 大谷栄一氏(佛教大学教授) 大村崑氏(喜劇俳優)

◆同日 理事会(本能寺大寶殿) 御会式の件

◆九月三十日(金) 御会式奉行委員会(顕本法華宗本山妙満寺) 御会式準備、打合せ

◆十月一日(土) 御会式(顕本

法華宗本山妙満寺) 導師妙満寺貫首大川日仰祝下、講師日蓮宗本山妙満寺貫首宮崎日嚴祝下。◆十一月十七日(木) 全門連京都理事会(顕本法華宗本山妙満寺)。

◆十二月月中旬予定 理事会(本能寺大寶殿) 行事報告、会計報告の件。◆十二月二十二日(木) 門下本山会主催 当番日蓮宗本山立本寺。◆十二月二十四日(土) 会計監査(日蓮宗事務所)

◆六月十一日 高祖日蓮大菩薩御生誕八百年記念法要・當山開創七五〇年慶讃・新本堂落慶法要(於・大本山鷲山寺)。

◆六月十四日(土) 法華宗青年会連絡協議会開催(幹事・北海道教区青年会)。

◆六月十一日 高祖日蓮大菩薩御生誕八百年記念法要・當山開創七五〇年慶讃・新本堂落慶法要(於・大本山鷲山寺)。

◆六月十四日(土) 法華宗青年会連絡協議会開催(幹事・北海道教区青年会)。

日蓮宗

令和四年

◆「令和四年千鳥ヶ淵戦没者追善供養並びに世界立正平和祈願法要」が八月十五日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で田中忠紳宗務総長を導師に営まれた。

◆日本藝術院は二月二十二日、新会員に星日龍師(本山妙純寺貫首)の就任を発表した。

◆三月十一日 東日本大震災慰霊・東京大空襲慰霊・ウクライナ軍事侵襲犠牲者慰霊法要(於・法華宗事務所)。

◆四月五日 宗祖日蓮大聖人御聖誕八百年記念法要(於・大本山光長寺)。

◆四月十一日 千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要。

◆四月二十二日 興隆学林専門学校令和四年度入学式を対面にて開催。宗学科八名、宗学研究科三名が入学。

◆四月二十二日 興隆学林開講に併せて、コロナ禍により、現地実習を履修出来なかつた卒業生を対象に、卒業生向け入寮プログラムを実施(五月十日)。

◆五月十三日 第四百十代法華宗管長に大本山本能寺御貫首、桃井日英祝下が就任。

◆五月十七日(十八日) 第七十七次定期宗会開催(於・浅草ビューホテル)。

◆五月十九日 大本山本能寺御貫首、桃井日英祝下第四百十代

立正大師諡号宣下の意義について」と題する講義が行われた。

◆八月二十七日(二十九日)の三日間にわたり、オンラインにおいて、妙塔学林(本科)が開講された。次回は研修科・研究科を十一月四日(六日)の各三日間にわたり開催予定。

顕本法華宗

三月二日

◆三月二日、オンラインにおいて、第七十七次定期宗会が開催された。令和三年度宗務事業報告及び決算、令和四年度事業計画及び予算案が承認された。

また、任期満了に伴う管長推戴が行われ大川日仰祝下が満場一致で再任されることとなり、引き続き総本山妙満寺の貫首も務められる。

朝倉俊泰師の教務部長退任に伴い、新たに二宮無尽師が教務部長に就任した。

◆五月一日(五日)の五日間にわたり、総本山妙満寺において、妙塔学林(本科・研修科)が開講された。

◆五月二十一日(二十二日)の二日間において、京都総本山妙満寺において、大川日仰祝下大導師のもと、宗祖日蓮大聖人立正大師諡号宣下一〇〇周年慶讃法要並びに、春季報恩大法要が厳修された。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全国檀信徒の団体参拝や全国僧員の出仕等は縮小し、インターネットによるリアルタイム動画配信(リモート参拝)を実施した。

◆六月十四日、オンラインにおいて第一回全国布教講習会が開催された。特命布教師・川崎英真師より「法号の選定文字、読み方について考える」と題する講義と、妙塔学林教授・小松正学師より「本多祝下の御生涯と

まのご生涯を振り返る特別映像を用意し、報恩の思いをこめオンラインで世界に発信し、盛大に法要を営んだ。126カ寺4169名の参加報告を受けた。

◆現在、京都佛立ミュージアムに於いて高祖日蓮大士ご降誕800年慶讃・京都佛立ミュージアム開館10周年記念展示「大宥清寺展―京都北野の知られざる名刹―」を開催。本山宥清寺にスポットを当て、京都北野の歴史とともに、宥清寺の由縁を紹介している。本山宥清寺宝物、高祖ご直筆のお手紙など初公開の展示品が並ぶ。また昭和30年代の北野周辺を再現したジオラマを作成、展示し地域からの注目されている。

◆去る3月18日午前11時から、宗立・佛立教育専門学校の令和3年度卒業式が本山宥清寺本堂で、講有日良上人導師のもと厳かに挙行され、4師が自坊に帰山した。

◆当宗公式ホームページ並びに寺院プログラムのサイトリニューアルが4月3日にオープンした。宗門ホームページのリニューアルで、一般公開ページと別に「寺院・教務・役中ページ」を新たに実装し、宗内外に向けた情報発信に努めている。

◆三月六日、第百三十六次定期宗会が宗務院にて開催された。

◆五月十日、宗務所長会が宗務院にて開催された。

◆五月十二日、霊跡別院蓮着寺(静岡県伊東市)にて「伊豆法難会」が、中野日仁山主導師により厳修された。

◆五月十三日(六月二十一日)までの四十日間、「法華宗学林」がオンラインで開講され、寺院徒弟が参加した。学林生達は毎日教学研究・練経・浄行等に励み、行学二道に精進した。

日蓮本宗

令和四年七月一日

◆令和四年七月一日、原田智光宗務総長(山形県妙國寺)の任期満了に伴い、新内局が発足。宗務総長に西尾弘道師(鳥根県多寶寺)、財務部長に住友公亮師(京都市本行院)、教務部長に柳下真敬師(東京都宗仙寺)が就任した。

◆四月六日(二十三日)、本隆寺に於いて、春季学林開講。

◆四月十一日(十三日)、本隆寺に於いて、春季大法会厳修。

◆五月三十日(三十一日)、本隆寺に於いて、研修会開催。

◆五月三十一日、本隆寺に於いて、真門教学講習会開催。

◆八月十六日、本隆寺に於いて、孟蘭盆施餓鬼法要厳修。

◆八月二十三日(二十八日)、夏季講習会開催。

◆八月二十二日(二十八日)、北海道支学林開講。

◆九月七日(八日)、青年会身延山参拝・川施餓鬼法要厳修。

◆九月二十六日、本隆寺に於いて、秋季彼岸法要厳修。

◆去る5月3日、京都佛立ミュージアムで開催中の「大宥清寺展―京都北野の知られざる名刹―」において、北野・宥清寺界隈のジオラマ完成披露式が行われた。昭和6年に現在の場所へ移転した宥清寺、その中心にあった地元・北野が、市電と嵐電の終着駅を有した昭和30年(1955)頃のにぎわう様子を再現。ジオラマ(株式会社 大和工藝(奈良県) 作製)は、精巧な仕上がりで、地元の方をはじめ多くの方が当時の北野に思

い馳せている。除幕式には京都北野商店街振興組合理事長らも出席。地域一体となって開催された。

国柱会

令和四年一月一日

◆令和四年一月一日、明治神宮団体参拝。元旦大国禱・新年拝賀式。神酒拝賀式。七日、昭和天皇祭。武蔵野御陵団体参拝。十六日、妙宗大靈廟第一二二回例月供養会。十七日、恩師命日忌。賽主以下職員妙宗大靈廟常勤給仕。三十一日、日蓮聖人門下連合会機関紙編集委員会(オンライン開催)に、的場春奈編集委員出席。

◆二月一日、月旦大國禱。十一日、紀元節慶讃法要。十五日、釈尊涅槃会報恩大法要。十六日、宗祖御降誕会慶讃大法要。十七日、恩師命日忌。賽主以下職員妙宗大靈廟常勤給仕。二十日、妙宗大靈廟第一二二回例月供養会。二十三日、天長節慶讃法要。

◆三月一日、月旦大國禱。明治の日運営委員会(於、衆議院第二議員会館)に、森山運営委員出席。十二日、国柱会中央連合協議会主催清掃奉仕。十七日、恩師命日忌。賽主以下職員妙宗大靈廟常勤給仕。二十一日、妙宗大靈廟春季彼岸大供養会。二十三日、法政大学英文学会副会長(花巻イーハトーブ大使)千葉剛氏来園、賽主と面談。

◆四月一日、月旦大國禱。七日、明治の日を実現するための議員連盟設立総会(於、衆議院第二議員会館)に、賽主(代表委員)・森山運営委員出席。八日、釈尊降誕会慶讃大法要。十七日、恩師命日忌。賽主以下職員妙宗大靈廟常勤給仕。十九日、明治の日運営委員会(於、衆議院第二議員会館)に、森山運営委員出席。二十二日、懐中御本尊御開眼式併修。二十五日、御本尊御開眼式併修。御遷座式に森山講師出席。二十八日、立正会慶讃法要。

◆五月十五日、第百十三回本門法華宗会をキャンパスプラザ京都において開催。

◆五月十二日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)において春季大法要を奉修。

◆本門法華宗学院(渡辺日恩学院長)第百八十回教学講習会を三月二十四日(二十六日)にオンラインにて、第百八十一回教学講習会(基礎教学講習会)を六

月七日(八日)に妙蓮寺卯木講堂にて、第百八十二回教学講習会を八月三十日(三十一日)にオンラインにて開催。

◆機関誌「信行」第百九十七号、布教誌「生きる」第七十八号を七月一日に発行。

(藤井光行)

(森山真治)

(安立寛亮)

本門佛立宗

令和4年度

◆令和4年度は高祖日蓮大士ご降誕800年ご正当年を迎えたが、コロナ禍に見舞われ、さらに未だ感染症問題が終息しない現況の中、「本山大法要」を一年延期することになった。令和5年度本山三大会に併せて奉修される。

◆令和4年2月16日(水)、高祖日蓮大士ご降誕800年ご正当日に当たり、宗門では、講有上人昇堂のもと本山宥清寺にて一座法要を奉修した。お祖師さ

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全国檀信徒の団体参拝や全国僧員の出仕等は縮小し、インターネットによるリアルタイム動画配信(リモート参拝)を実施した。

◆六月十四日、オンラインにおいて第一回全国布教講習会が開催された。特命布教師・川崎英真師より「法号の選定文字、読み方について考える」と題する講義と、妙塔学林教授・小松正学師より「本多祝下の御生涯と